

# 教 育 計 画

## 1. 現職教育

### 1, 研究主題 「主体的に学習する子どもの姿を求めて」

#### 2, 研究主題設定の理由

子どもたちが、変化の激しいこれからの社会を生きるためには、確かな学力、豊かな人間性、健康・体力の知・徳・体をバランスよく育てることが大切である。そのような「生きる力」を育むために、子どもたちと向き合うことが、我々の使命と考える。

本校の子どもたちは、言われたことやしなければならぬことに対しては、素直でまじめに取り組む子が多い。反面、自ら課題を見つけたり、根拠を持って発言したりすることが苦手な子が多い。

この子どもたちに、自信を持って自分の考えや意見が述べられたり、論理的に物事を考えたりする力を付けていきたい。

本校は、長年国語科を現職教育の中心に据えて研究を進めてきた。

子どもたちの実態を見ると、国語科の学習においてはかなりの理解力を示し、発表においても根拠を示した発言も出てくるようになってきた。しかし、まだまだ自分の思いや意見をわかりやすく話したり文章にしたりする力が不足している。

算数科やその他の教科においては、受け身の学習が多く教師からの発問にはこたえるが、自分の考えや意見を進んで発言することは非常に少ない。

また、体育科においては、平成26年度に体力授業力アップの指定を受けて取り組んだことで、教師が体育の授業の大切さを理解し、運動の特性を意識した学習を計画・実施しているところである。

このような現状を踏まえ、平成27年度から3年間をめどに『国語』『算数』『体育』を現職教育の柱として研究を進め、子ども一人ひとりが主体的に学習する授業の在り方の研究を進めるとともに、すべての子どもたちに基礎学力の充実と体力の向上を図る取組を行っていきたい。

### 3, 研究の進め方

#### 国語科

##### (1) 研究の内容

豊かな表現力を育てるための効果的な学習活動

##### (2) 研究の重点

- ・自分の思いや考えを適切に伝え合う学習活動
- ・単元を貫く言語活動を中心に据えた学習活動

##### (3) 具体的な取り組み

- ・子どもの実態に即し、問題解決に向けての一人学習ができるようなワークシートを作成する。
- ・話し合いを活発にするための効果的な学習形態を取り入れる。
- ・単元の見通しを持って学習することを意識づける。

#### 算数科

##### (1) 研究の内容

算数的活動の楽しさを味わわせる学習活動

##### (2) 研究の重点

- ・課題について考える活動
- ・算数の知識をもとに発展的・応用的に考える活動
- ・考えたことを表現したり、説明したりする活動

##### (3) 具体的な実践の取り組み

- ・問題場面から課題設定し、既習の内容をもとに追及を進め解決を図っていく。
  - ・単元の終末等に数や図形の適用範囲を広げたり、日常生活の場面に活用して考えたりする。
  - ・算数的活動を通して、自分の考えをもち、それらを言葉や式、図、表、グラフを使ってかいたり、仲間に伝えたりする。
- ※単位時間のねらいに応じて3つの活動を意図的に位置づけていく。

#### 体育科

##### (1) 研究の内容

運動の楽しさや喜びを自ら味わうことができる学習活動

##### (2) 研究の重点

- ・子どもが設定しためあてや課題を解決できる場の工夫
- ・子どもが今持っている力で運動に親しむことができる学習活動

##### (3) 具体的な取り組み

- ・器材・器具を工夫し、一人ひとりが運動に親しむ機会を多く設定する。
- ・単元学習を行うことにより、自らのめあてに沿って学習を深めさせる。
- ・ワークシートを用いて、自らめあてや課題を考えさせ、次時への意欲を持たせる。